

催行決定
歩行レベル★

うっすら色づき始めた最北の秘境へ

初秋の知床ハイキング4日間



初秋の知床五湖(イメージ)

日程 9月6日(火)夜発~9月9日(金)

旅行代金 108,000円 (JR札幌駅集合・新千歳空港解散)

お一人様 95,000円 (JR札幌駅集合・女満別空港解散)

※その他の集合・解散でのご参加についてはお問い合わせ下さい

集合 9月6日(火) JR札幌駅 22:30

- 食事/朝2・昼0・夕2 ●5名様より催行決定 ●JR札幌駅より全行程ツアーリーダー同行
- ハイキングには現地ガイドが同行
- 宿泊/ホテル知床 2~4名1室 ※お一人部屋希望の方は16,000円(2泊分)追加料金がかかります

日	地名	行程	食事
9/6 (火)	J R 札 幌 駅	JR札幌駅 (バスターミナル) 23:15 発<都市間高速バス・イーグルライナー> = ※翌日の朝食、行動食は事前にご用意下さい。 [バス車中・泊]	— — —
9/7 (水)	ウトロ温泉 知床五湖 フレベの滝 カムイワッカ湯の滝 ウトロ温泉	= ウトロ(ホテル知床)6:45 着 着後、ホテルのロビーにて各自朝食。不要な荷物はホテルに預けます。 7:50 頃、現地ガイドとホテルにて合流。 知床ハイキング1日満喫ツアーへ (全歩程:約9h ※カムイワッカ湯の滝を除き、ほぼ平坦なコースです)。 ● 知床五湖ハイキング (五湖全てを廻る 大ループコース を散策/約3km・約3h)。 終了後、各自 昼食 (ウトロ地区内の食事処、またはコンビニなどで購入)。 ● フレベの滝ガイドウォーク (約100mの断崖絶壁から流れ落ちる、別名 “乙女の滝” へ。展望地からは海や山のパノラマ絶景が広がります/約2km・約1h30) ● カムイワッカ湯の滝ハイキング (硫黄山から流れ出る川全体が温泉。川の中を歩いて滝で温泉浴を楽しみます/約2h) 終了後、ホテルへ(17:30 予定)。 [ウトロ温泉・泊]	— — 夕
9/8 (木)	ウトロ温泉 羅白湖 知床クルーズまたは知床自然センター ウトロ温泉	朝食後 8:30 頃、現地ガイドとホテルにて合流。 ● 羅白湖ハイキング (途中4つの沼を通過して 知床半島最大の湖 へ。標高700mながら本州の標高2,000mの山に匹敵する自然景観が広がります/約6km・約3h)。 ハイキング終了後(13:00 頃)、ウトロ地区にて 各自昼食 。 知床クルーズ (カムイワッカの滝コースまたはレシャコース/所要1h~2h ※出航最低運航人数に満たず、運航中止の場合は 知床自然センター を見学)。 夕食後(20:00 ~)オプションにて「 ナイトサファリ知床 」へ。ガイドの案内で野生動物を探したり、好天の日は満天の星空を見上げたり、夜の世界ならではの感動を。ご希望の方は別途ご案内にてお申し込み下さい(ホテルへの送迎付き)。 [ウトロ温泉・連泊]	朝 — 夕
9/9 (金)	知床自然センターまたは知床クルーズ 女満別 新千歳	朝食後、 知床自然センター の見学(前日、知床クルーズが欠航の場合はクルーズ船に乗船/カムイワッカの滝コース)。その後、ウトロにて 各自昼食 。 ウトロ 12:20 発<空港連絡バス> = 女満別空港 14:26 着 ※女満別空港にて解散の方はここでお別れとなります 女満別 17:45 発<JAL-2718便> 新千歳 18:30 着	朝 — —

※交通/航空機 =車・バスなどの移動

※歩程は休憩時間を除いた実質歩行時間の目安です。当日の天候、登山道の状況、歩くペースなどにより前後します。

※ハイキング日の昼食、行動食、行動水は各自となります。昼食はウトロ地区の食事処などでお取り頂く時間を取ります。なお時間が押した場合はコンビニなどで購入して手短かにとっていただく場合も有ります(細かくは現地にてツアーリーダーがご案内します)。

※各ハイキングコースとも天候に大きく左右されます。悪天候の場合、またヒグマの出没状況によりハイキング中止、コースの変更またはシートカットをする場合がありますので、予めご了承ください。現地ガイドとツアーリーダーが状況を見ながら判断いたします。

※知床五湖、羅白湖ハイキングは長靴での散策となります(現地で無料レンタル有り。サイズをお知らせください)

知床ハイキング 持ち物リスト

	品名	数量	チェック	備考
1	ハイキング用シューズ	1組	○	靴底のしっかりしたもの。防水性の良いゴアテックスや皮革製の軽登山靴など。履き慣れたものを使用して下さい。
2	タウンシューズ	1組	△	移動時の履き替え用に。運動靴やスニーカーなど。
3	旅行かばん(小～中)	1個	○	飛行機や宿に預ける荷物入れ用。バッグやスーツケースでも良い。
4	ハイキング用ザック	1個	○	ハイキング時に背負うザック。目安は容量 20～30ℓ程度の日帰り用。車内・機内持ち込み兼用にしても良いでしょう。
5	雨具(上下)	1着	○	しっかりとしたゴアテックス製の上下セパレート型をご用意ください。防寒着としても活用します。
6	防寒着 (フリースやダウンなど)	適数	○	9月の知床は悪天候の場合、本州の標高 2,000m の山に近い気象状況になります。雨風が強いと体感温度も下がります。軽くて乾きの早いフリースジャケット、ダウンジャケットなど、防寒対策ウエアは必ずをご用意ください。
7	衣類(着替え)	適数	○	長袖シャツ、半袖シャツ、スラックス、肌着、靴下など。
8	帽子、フェイスガード (日除け用・防寒用)	1個	○	好天時の強い日差しを遮るため、つばのある帽子は必携。強風時はフェイスガード(目出し帽)も便利です。耳を覆う帽子または有ると良いでしょう。。
9	手袋類(厚手・薄手)	適数	○	薄手と少し厚手のもの、また、雨天時に使用する防水性のあるものなど、数タイプあると良いでしょう。
10	サングラス・リップクリーム	1個	○	好天時、強い紫外線から、目や唇を保護するために必携と言えます。
11	水筒・テルモス	1個	○	容量 1～2ℓ程度。ペットボトルでも可。知床の秋は好天でも朝夕と冷え込む日が多くなります。テルモスに温かい飲み物を入れてお持ち下さい。
12	洗面用具	適数	○	浴衣、タオル、バスタオル、歯ブラシ、シャンプー類は宿泊する温泉ホテルのアメニティとして付いています。
13	筆記用具	適数	○	メモ帳やボールペンなど。
14	財布・クレジットカード	適数	○	クレジットカードは有ると便利です。保管に気をつけましょう。
15	ヘッドライト・笛	各1	○	登山には必携です。ヘッドライト用の予備電池も必ずお持ち下さい。
16	ロールペーパー	適量	○	トイレ用など、何かと使います。
17	携帯トイレ	2個	○	ハイキング中にトイレはありません。各コース 2～3 時間の歩行ですが、心配な方はご用意ください。
18	スパッツ	1組	○	知床五湖、羅臼湖はぬかるみも多く長靴で散策するので不要ですが、その他のコースは対策用にあると便利でしょう。装着は各自の判断で。
19	熊除け鈴	1個	△	できるだけご用意下さい。
20	虫除け	適量	△	森や湿地帯では、天気の良い時は虫が発生する可能性があります。
21	双眼鏡	1個	△	知床は野生の宝庫です。動物ウォッチング等があると便利です。
22	折り畳み傘	1本	△	街中用に。ハイキング中に傘をさして歩くことは禁止です。
23	日焼け止め	適数	△	好天時、強い紫外線と乾燥から肌を守るために。リップクリームも。
24	ストック(杖)	1組	△	普段、山歩きに使用している方はあれば安心。伸縮式が便利です。ダブルストックがよりおすすめです。
25	医薬品	適数	△	持病用の特別な薬などあれば、各自ご用意下さい。
26	ザックカバー	1枚	△	ザックの防水用レインカバー。登山中の急な降雨に備えて。
27	カメラ・携帯電話	適数	△	予備電池や充電バッテリーも忘れずに。
28	行動食・嗜好品(2日分)	適数	○	ウトロのコンビニなどで現地調達可能ですが、品薄の場合もあります。普段愛用している行動食・嗜好品があれば事前にご用意下さい。

※上記のリストはあくまで参考として御利用下さい。 ○：必要なもの △：あると便利なもの